

令和7年10月21日研究公開報告

令和6・7年度県・地区指定研究協力校研究公開

錦江町立田代中学校で

「学校における教育の情報化」についての研究公開が開催されました。

令和7年10月21日（火）に、錦江町立田代中学校にて、県・地区研究協力校「学校における教育の情報化」の研究公開が行われました。田代中学校では、研究主題を「『個別最適な学び』の実現に向けて」、副題を「生徒の主体的な学習を促すICT機器などの効果的な活用」と設定し、2年間の実践的な研究に取り組んできました。

当日は、生徒がICT端末を「文房具」として活用し、自分で課題を見付け、その解決方法を考え、学習形態や学習時間を自己選択・自己決定しながら主体的に学び、友達と協働して課題を解決していく様子が見られました。



【閉会のあいさつ】
土岐 邦寿 校長先生

【研究発表】

研修係の小園教諭が、本研究で設定した二つの仮説に基づき、具体的な手立てと実践事例を用いながら、成果と課題を明らかにした研究発表を行いました。

【仮説の検証Ⅰ】

「授業における主体的な学習の促進」に関する内容
自己調整しながら課題解決に取り組む授業実践（数学科）の紹介。

【仮説の検証Ⅱ】

「学びの質を高める授業外活動の充実」に関する内容
家庭学習におけるICT端末の活用の実践（国語科）の紹介。

ICT端末を効果的に活用した生徒の学びの質を高める取組について、丁寧に説明がなされました。目指す生徒の姿の実現に向けた2年間の研究の歩みが伝わる素晴らしい研究発表となりました。



【研究発表の様子】

【公開授業：第3学年 数学科】

単元 「相似な図形」

生徒は「予習型反転学習」に取り組みました。

展開場面では学習形態や解決方法を自己選択・決定し、試行錯誤しながら友達と協働して学びを深め、数学の面白さや奥深さを実感している様子が見られました。教師は、ICT端末を活用して生徒の進捗状況をリアルタイムに把握し、必要に応じて的確な指導や助言を行っていました。

予習反転学習とICT活用により、一人一人に応じた個別最適な学びが進むとともに、互いの考えを交流する協働的な学びの一体的な充実が図られていました。



【学び合いの様子】

【授業設計の工夫】

1 予習型反転学習

(1) 生徒が自分のペースで予習を進め、予習内容もレベル別に構成する。

(2) 授業時間に扱う例題等を解く時間を短縮し、思考や表現に多くの時間を確保する。

2 ICT端末の効果的な活用

(1) ヒントや予習解説動画を作成する。

(2) 平面図形を視覚的に捉えることができるよう、ICT端末の特性を生かして提示する。

3 まとめ・振り返りの充実

○ 生徒が本時の学習内容について「振り返りシート」を活用して、自己評価・自己分析し、言語化することで、自己調整力を育成する。



【授業研究の様子】

【授業研究とICT活用による学びの変容】

授業研究では、研究の視点に基づいて、参加者から様々な意見が出され、有意義な協議が行われました。

ICT端末を活用した2年間の研究により、子供たちの「学びの姿」に確かな変容が見られました。特に、生徒が自らの学びを設計し、家庭と学校をつなぐ“学びの循環”が実現されていました。まさに、学校全体で積み重ねてきた日々の取組の成果が表出していると実感しました。

大隅地区内の各学校においても、子供の可能性を引き出す「ICT×主体的な学び」の実践が更に広がっていくことを期待しています。